

五條天神社

Gojoutenjin sha (4-17 Uenokoen in Tokyo)
東京都台東区上野公園四番十七号鎮座

主神 大己貴命 (医薬の神様)
少彦彦名命 (医薬の神様)
菅原道真命 (学問の神様)
相殿

当社は、景行天皇の御代(一一〇年頃)、日本武尊が東夷征伐の為に上野忍ヶ岡を御通行の際、薬祖神二柱に御加護をいただいた事に感謝し、茲に両神をお祀りなされましたのがご創祀であります。

堯恵法師の『北国紀行』に「正月の末武蔵野のさかい忍ヶ岡を優遊しはべり鎮座の社五條天神と申しはべり」云々として記され、この正月は室町時代(文明十八年)とされております。

大己貴命は大国主命とも称され、須佐之男命の御子で「いなばの白兔」「大国様と白ねずみ」等、神話や童謡で知られている神様です。

少彦名命は神産日神の御子で、蛾の皮の着物に豆の実のさやを舟にして出雲の国に「到着されます。ここで大己貴命と出会い兄弟の縁を結び初めて国民に薬の術と病を癒す方法、又お酒の作り方等もお教えになり、国土の開発に力を尽くされた神様です。

菅原道真命は、江戸初期寛永十八年に合祀されました。

社地は寛永寺の境内拡張により、当時の神職瀬川家屋敷内に遷り、大正に至る迄お祀りされましたが、昭和三年に現社殿が造営されました。

当社は古くから「天つ神」を祀ることより「五條天神」と呼ばれ、薬祖神としての尊崇が篤く、平成二十二年に、御創祀一九〇〇年の記念大祭が斎行された、東都有数の古社であります。

令和十年には、現鎮座地への御遷座一〇〇年を迎えます。

令和六年 祭日表

歳旦祭	一月一日
初医薬祭	一月十日
門松焼納式	一月十五日
初天神祭	一月二十五日
祈年祭	二月二十五日
例祭	五月二十五日
大祓式	六月三十日
新嘗祭	十一月二十五日
大祓式	十二月三十日
古神札焼納式	十二月三十一日
除夜祭	〃
毎月十日 医薬祭	二十五日 天神祭
○うそ替えの神事	一月二十五日
○宝舟の神事	一月一・二日
○うけらの神事	二月三日(節分)

社殿拝観は毎月十五日(月詣り時)
無病健康・病氣平癒他、諸祈願申込は
随時受付まで(受付は九時より五時)